

年頭に あたって

元氣のぞる村づくりのため共に歩みましょう



下條村長 金 田 憲 治

明けましておめでとうございます。希望に輝く新春を迎え、皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。六期二十四年間、下條村発展のためご尽力をいただき、特に、実質公債費比率は二年連続日本一と健全財政を確立され、また、子育てをはじめ少子化対策において「奇跡の村」として下條村の名を日本に轟かせられました前伊藤村長には、敬意と感謝を申し上げます。

さて、昨年は熊本県を始め、鳥取県、福島県沖を震源とする地震など多くの地震災害と梅雨前線に伴う大雨や台風で大きな被害を受けました。しかし、これらの災害は、本村への影響が少なかったものの天候不順による農産物に影響が出ました。このことから、住民の皆様の安全安心を守るため必要な警戒を怠らぬようにして、関係機関とも密接に連携し体

制を強化してまいります。

また、昨夏には参議院、下條村長村議の補選があり、その時から十八歳以上の者に選挙権が拡大されました。若い人達の政治への関心が一層高まるよう進めてまいります。

交通網の整備状況ですが、阿智村への道路改良の完成、リニア中央新幹線の長野工区(大鹿村)で工事着工、三遠南信道につきましては天竜峡からの飯橋道路2工区が三十一年度開通見通しの発表や和田バイパスの完成、本村の粒良脇トンネル(三十一年度開通予定)のボーリング調査完了など着実に環境整備が進展してきて、これらに備えた村づくりにより更なる取組を進めてまいります。

平成二十八年度の事業執行状況ですが、主なものといたしまして中学校では大規模改修の完了や避難所機能強化のためソーラーでの蓄電設備の工事も行っています。その他、情報系ネットワークの整備、そばの城誘客促進のための設備更新など順調に実施しています。また、来年度から実施予定の小学校長寿命化改良工事が国の本年度二次補正で予算付けされ、工事が来年度から三年間の予定

で始まります。

一方、少子高齢化の波には本村も巻き込まれています。加えて農業や商業など後継者不足が大きな課題です。この状況に対応するためには、村民の皆様がともに助け合っていくかなければなりません。共同でできる体制づくりに支援の輪を広げてまいります。その基本にたつて平成二十九年度予算編成をしていきますが主な方針や事業については次の通りです。

人口減少が進む中「地域おこし協力隊」の活用を図り移住定住や婚活を進めていきます。

農業・商業の活性化ですが、農業について安定した生産、高付加価値化、販路拡大に向けた取組を、商工業については体質強化を図れるよう、村の中でお金が循環する環境を推進します。

防災減災関係では公共施設の防災機能強化や災害物資・資材の充実と防災倉庫の設置、各地域での講習会に取組みます。

援センターの建設と子育ての支援強化や高校通学の財政支援を図ってまいります。

生きがいを持てるよう推進を図ってまいります。

進する決意を新たにしています。今までお寄せいただきましたご支援に心から感謝し、今年が一層輝く年でありますようご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。

新たな信頼と希望を与える村を目指して

下條村議会議長 村 松 積



新年明けましておめでとうございます。平成二十九年の輝かしい新春を迎え、村民の皆様を代表して謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。また、日ごろは議会活動に対し陰に陽にご協力を賜り、心から感謝とお礼を申し上げます。

下條村で昨年の一〇大ニュースにおいて紹介されていますように、前伊藤村長がこの小さな下條村を全国的に押し上げ、また数々の功績を残され、平成四年から六期二十四年間勤められた村長職を、昨年七月に村民に惜しまれつつ勇退され、金田新

村長が誕生し、新たな村政がスタートされました。新たな発想と智慧を持って、また独自の施策により、住民要望にも十分に応えて、これからの下條村の舵取りを、しっかりと行って頂けるものと期待をしております。

平成二十七年決算での借金返済の重さを示す、実質公債費比率では前年度を〇・二ポイント下回るマイナス六・六%で、この山間地の小さな下條村が全国の市区町村で昨年に引き続き全国第一位となり、これも村民の皆さんの頑張りとの協力によって成し得たものであります。現在も健全な財政運営を行い、魅力ある村づくりに推進して来た結果、各方面から、非常に高い評価を受け、昨年末に全国から五二九余の各自治体から視察団が相次いで訪れて来ています。

リニア関係では昨年十一月一日大鹿村で南アルプストンネル長野工区工事(八・四キロ)の起工式が行われ

新たな段階を迎えました。また三遠南信道についても着々と工事が行われ、平成二十九年度には龍江ICから飯田東IC間が開通予定・天竜峡大橋(仮称)が平成三十一年度には開通予定となっております。

まだまだ地方公共団体を取り巻く環境も、非常に厳しい状況にありますが、しかし、厳しい財政状況であろうとも、村民の皆様にとって、本当に必要な施策は、住民サービスが展開される事で、我々議会人として、住民から付託された大きな使命で在る事を認識し一層の努力を重ね、下條村の更なる発展と、福祉向上・生活の安定を図るため、議員一丸となつて力を傾注していかねばならぬな

限らないご繁栄とご躍進の年と成りますよう、心からご祈念いたし、年頭のごあいさつといたします。